



Milano Salone 2022, Milano Design week 2022の特集です。

## Antonio CitterioがCassinaのデザイナーに

カッシーナ アンтониオ・チッターリオ  
Cassinaでは新たに Antonio Citterio をデザイナーに加え、時代を超えたエレガンスとスタイルを体現するモジュラーソファを発表。Esosoft collectionは8つのモジュールで構成されており、アルミニウムの外骨格とシェル型の柔らかいクッションのソファ。組み合わせるとL字型のソファを形成することもできます。デザインは1960年代に典型的なカジュアルな快適さの概念を彷彿とさせますが、素材と制作技術は現代的であり、持続可能性を感じさせます。



Esosoft by Antonio Citterio

Editor : Yoshihiro Noguchi Photo : Takashi Sakato

## B&B ItaliaはMario BelliniリサイクルできるLe Bambole

マリオ・ベリニ ラ・バンボレ  
Mario BelliniのソファLe Bamboleが今年で50周年を迎えるので大幅にリニューアルしたバージョンを発表しました。アームチェア、2人掛けソファ、ダブルベッド。さらに、3人掛けソファは今日のニーズに合わせて更新され、より深いシートがGranbambolaという名前になりました。ポリウレタンフォームと熱可塑性エラストマーの要素が追加されて、形状を形作り、快適さと通気性を定義します。PETから派生したアンダーカバーで覆われています。



Le Bambole by Mario Bellini

## PAPÀはその存在感が疑問を投げかける典型的な椅子

カルテル フィリップ・スタルク PAPA  
KartellではPhilippe Starck 新作「PAPÀ」がお目見え、Starck 云く PAPÀ がいつどこで設計されたのか、誰によって設計されたのかはわかりませんが、PAPÀ は私たちの周りにあります。ラウンジ、庭、キッチン、黄色、青、ピンクで、多くの場合手作業で描かれ、愛情で着色されています。PAPÀ は私たちの心の中にあります。PAPÀ はあなたを包み込む椅子であり、その存在感が疑問を投げかける典型的なリサイクルできる椅子です。



PAPÀ by Philippe Starck

## DIOR MEISONはMilanoSaloneでPhilippe Starckとの初コラボ

2022年のミラノサローネ国際家具見本市に際し、DIOR MEISONはPhilippe Starckとの初の取り組みとして、アイコン的な「Medallion Chair」の再解釈を依頼しました。Christian Diorがこよなく愛したこのルイ16世様式を象徴するデザインを再構築し、大胆さと優雅さを併せ持った女性らしさへのトリビュートとして「Miss Dior」チェアを創作しました。気品と耐久性アルミニウムの軽さをさらに強調しました。完璧さの追求の結果、不朽の名作が誕生しました。



Miss Dior by Philippe Starck

## moooiの展示はSalone dei Tessutiにて開催

モイ アルドラ ソファ  
オランダのmoooiの新作Aldora Sofaは、人気の女性デザイナー Cristina Celestinoのデザインによるクラシックなコンセプトを現代風にアレンジしたものです。この象徴的なシーターは、2人が何時間も会話するように誘う彫刻的な背もたれがあるため、群衆から際立っています。柔らかなフェミニンなフォルムは、オランダカイウの優雅な花びらからインスピレーションを得ており、ミラノのブルジョアの退廃的な魅力を持っています。



Aldora Sofa by Cristina Celestino

## Giroflexとのコラボで参加Karimoku New Standard

ジロフレックス ビッグゲーム カリモクニュースタンダード  
Giroflex、BIG-GAME、Karimoku New Standardの3者のコラボレーションによってデザインされたgiroflex 150は、クラシックな木製オフィスチェアを現代的に解釈し、天然素材の美しさをたたえ、Giroflexの1世紀半にわたるデザインへのオマージュを込めたものです。機能的、審美的に家庭とオフィスの両方の職場環境に適しており、現代のサステナビリティへの期待にも応える「giroflex 150」は、過去を尊重しながらも未来を見据えている木製チェアです。



giroflex 150 by BIG-GAME

## 大城健作さんの新作は昆虫のトンボのような椅子

クリスティア  
KRISTALIAからミラノ在住の日本人デザイナー大城健作さんのチェアとアームチェアが発表されました。特徴は、トンボのようにフレームに繊細に乗る有機的なラインの背もたれ、椅子の名前は日本語で「とんぼ」です。特別な丸みを帯びたジョイントが、この繊細な効果を生み出しています。フレームは無垢のアッシュ材で作られています。背中の部分を真正面から見るとトンボの顔が想像できる有機的な良いデザインです。



Tonbo by Kensaku Oshiro

## MinottiのコレクションにInoda+Svejeが加わる

ミニotti  
イタリアの高級ソファメーカーMinottiに新たに日本人とデンマーク人の夫婦、猪田恭子+ニルス・スバイエがデザイナーとして加わった。軽くてエレガントな椅子「Yoko」は日本の名前とスカンジナビアのラインが、両方の文化の風味を備えた美的マトリックスを備えた椅子。ソファ「Lars」は柔らかく、非対称で、連続的な、有機的な曲線で、5本の細い脚は無垢のアッシュです。木の都「仙台」にちなんで名付けられた「Sendai」は小さなソファ、アームチェア、ダイニングとラウンジのアームチェアで構成されていて、家庭とホスピタリティエリアの両方の生活空間で使える家具です。



Yoko by Inoda+Sveje



Lars by Inoda+Sveje



Sendai by Inoda+Sveje

